

5・6年生から

『小学生のための 俳句(はいく)入門』(911シ)
坪内 稔典(つぼうち ねんてん)／
監修(かんしゅう)、
佛教大学(ぶっきょうだいがく)／編(へん)、
くもん出版

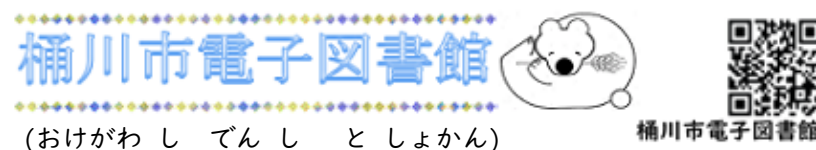


みなさん、俳句をつくったことはありますか？
この本では、小学生が考えた175の俳句を動物・
植物・自然など10のジャンルに分けて紹介(しょう
かい)しています。「俳句って、こうやって つくるの
か!」と、きっと学ぶことができるでしょう。

友だちの俳句を参考に、自分の思いを表現(ひょう
げん)するステキな俳句をつくってみませんか？



お知らせ



図書館リようカードとパスワードを持(も)っていて、
桶川市内(しない)に住(す)んでいる人、
桶川市内の学校(がっこう)に通(かよ)っている人、
桶川市内ではたらいっている人が使(つか)えます。

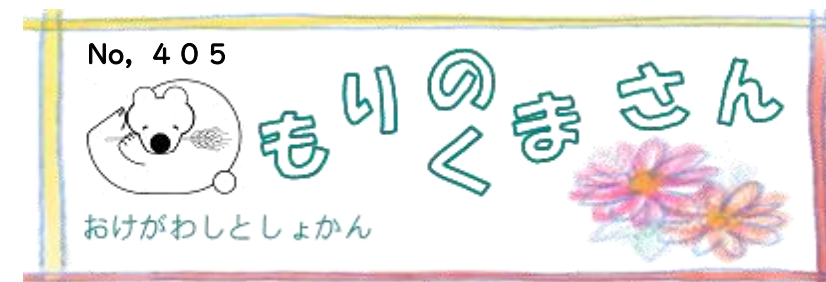
図書館カレンダー

5月						
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
お休み	※毎週月曜日、桶川・川田谷図書館はお休みです。					
おはなし 会	桶川(おけがわ)図書館 (TEL 771-0303) 川田谷(かわたや)図書館 (TEL 786-8846) 毎週土曜日 午前10時30分～11時					
	坂田(さかた)図書館 (TEL 783-2150) 毎週土曜日 午前11時～11時30分					
	中央(ちゅうおう)図書館 (TEL 786-6353) 毎週土曜日 午後3時～3時30分					

☆これまでの「もりのくまさん」は、
桶川市図書館のホームページ(図書館メニュー>
児童(じどう)向け図書館だより もりのくまさん)
から見(み)られます。



☆今月の「もりのくまさん」は小学生向(む)けです。



2025年5月1日発行 桶川市図書館

☆今月の特集(こんげつのとくしゅう)☆

5月18日は、言葉(ことば)
の日です。

そこで、今月は、言葉や詩(し)、
俳句(はいく)などの本を
紹介(しょうかい)します。

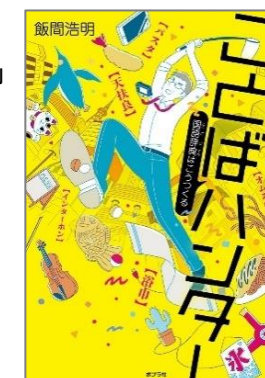


ことば ハンティング

『ことばハンター』(813コ)

飯間 浩明(いいま ひろあき)／著(ちょ)、
ポプラ社

「やばい」はどういう
意味(いみ)? 「声優(せいゆう)」
をどう説明(せつめい)する?
国語辞典(こくごじてん)を
作(つく)る人は、ことばが好きで
しかたがない! 毎日(まいにち)
新(あたらしい)ことばを
集(あつ)めたり、どんな意味かを
考(かんが)えたりしています。
私たちが使(つか)うことばは、じつは少しずつ変(か)
わっているのです。さあ、次(つぎ)はどんなことばを
説明(せつめい)しよう?



いっしょに「ことばハンティング」をのぞいてみま
しょう。

1・2年生(ねんせい)から

『詩(し)って なあに?』(E シ)
ミーシャ・アーチャー／作(さく)、
石津(いしづ) ちひろ／訳(やく)、BL出版

ダニエルは、にちようびに
こうえんで、詩(し)の
はっぴょうかいがあることを
しります。でも、詩って
なんだろう?

気(き)になったダニエルは、
げつようび、かようび……と、

まい日(にち) なかよしの どうぶつたちに 詩につ
いて きいてまわります。そのうちに、詩について
きょうみを もちはじめて……。

さて、ダニエルは、じぶんの 詩が みつけられる
でしょうか?



『学校(がっこう)はうたう』(E ガ)
杉本 深由起(すぎもと みゆき)／詩(し)、
松田 奈那子(まつだ ななこ)／絵(え)、
あかね書房

学校(がっこう)にあるもの
たちが、もし、しゃべったら、
どんなことを言(い)い出(だ)す
のだろう? くつばこや
机(つくえ)、ランドセルに
だって、「きっと命(いのち)が
あり、心(こころ)がある」と
想像(そうぞう)してみたら……。

学校にある ひとつひとつのものたちが、きもちを
自由(じゆう)にうたう! ほら、聞(き)こえてきたか
な?



3・4年生から

『声に出そう四季(しき)の短歌(たんか)・
俳句(はいく) I 春のうた』(911 イ I)
岩越 豊雄(いわこし とよお)／編著(へんちょ)、
鴨下 潤(かもした じゅん)／絵、汐文社

むかしから日本では、
短歌(たんか)や俳句(はいく)で
表現(ひょうげん)するこを
通して、人と人が心を通わせ
たり、人々の営(いとな)みや、
自然(しぜん)に感動(かんどう)
する 豊(ゆた)かな心を養(やしな)ってきました。

草や木の若芽(わかめ)がのび、花が美(うつく)しく
咲(さ)く この季節(きせつ)に、春のおとずれを
感(かん)じながら、作品(さくひん)を 声に出して
読んで、あじわってみてください。



『てのひらの味(あじ) 食(た)べ物(もの)の
俳句(はいく) めくってびっくり俳句絵本 I』
(911 テ)
村井 康司(むらい こうじ)／編(へん)、
とくだ みちよ／絵、岩崎書店

カレー、チャーハン、
目玉焼(めだまや)き……。
いろいろな食べものにまつわる
気持(きも)ちや思い出、味(あじ)
わったときの感動(かんどう)を
よんだ 俳句集(はいくしゅう)
です。

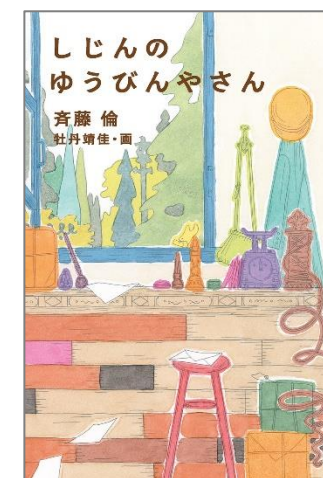
五・七・五のたった 17 音(おん)だけど、となりの
ページを開(ひら)けば、作者(さくしゃ)の気持(きも)
ちがよく伝(つた)わってきます。

「ごちそうを俳句で味わうおもしろさ」
おそまつさまでした。



5・6年生から

『しじんの ゆうびんやさん』(913 サ)
斉藤 倫(さいとう りん)／作、
牡丹 靖佳(ぼたん やすよし)／画、偕成社



ちいさな街に、ちいさなゆうびんきょくがありま
した。

ある日、ゆうびんやのガイトーは、てがみをもら
ったことがないという とうだいもりのじいさんに
てがみを書きました。とどいた てがみを じいさん
が見ると、そこには詩が書かれていました。

詩には、書いていないことを考えさせるふしぎな
力があります。あなたなら、どんなてがみをもら
いたいですか?

